

タイトル「パンツの匂い責め編」

1番
「(息吹きかけ) ふ～～～……」

2番
「ロリコノは犯罪です、わかつてますかおじさん」

3番
「ダメだつて理解してゐのにしおりでおちんぽシロシハヤセサるんだ、
いけないんだ～～～」

4番
「(息吹きかけ) ふ～～～……」

5番
「ふふ、じや～あ～、

6番
変態のロリコノせんに染みつきのパンツの匂い嗅がせてあげる」

7番
「しおりは履いてる物一枚脱いじゃうから…よじしょ、んつ、よじしょ、
えへへかわい?しおりのくまさんパンツ、
おじさんの為に敢えてこのパンツ履いてきたんだ」

8番
「パンツにおしつ」の染みついてるんだよ、おじさん匂い嗅がたいよね?」

9番
「そ～れ～と～も～～～……」

10番
「無理やり嗅がせて欲しいかな～、え～～～い」

11番
「あはは、パンツに顔押し付けられて気持ちい声聽こえたよ～、
いくう～つて」

12番
「ふふふ、顔顔、トローニつてなつてるよ、そんなにいい匂いした～?」

13番
「だよね～アヘ顔晒しちゃうよね～～～」

14

「だつて」のパンツ……何日間も履きっぱのパンツなんだよ、
だから毎日のおしゃりの拭き残りが染みついてとつても臭いの」

15

「おじさんはしおりみたいな年下の女の子のおしゃりの匂いだといい好き
きドショ~ふふ、おしゃり大好きおじさん、くんたい」

16

「(息吹きかけ) ふ~ふ~ふ~ふ~ふ~ふ~

17

「ふふふ、おちんぽ少し元氣ないぞ、精子の量回復に時間かかりそうだね
「そうだよ、さつきまではもっととかっこいいおちんぽだった、
熱くて固くてびんびんに勃起してたし」

18

「じゃあもう一枚履いてる物脱いだらエマ回復するかな~」

19

「(パンツを脱ぐ) よじょじょ、ん~ん~ん~ん~と、よじょじょ

20

「あ~どうせだし上半身も脱いでおっぱいも見せてあげちゃお~と、

んじょ~と」

21

「あ~もつはあはあしちやつてる、おっぱいじろじろ見てや~らしじ~

22

「下半身丸出しじけないマンコが見えちゃつてるでしょ~」

23

「マンコ拡げて中のマン肉見せたげる、ほ~ほ~」

24

「肉の壁がペニスを刺激して締め付けるんだよ」

25

「オナホールで発射した事あると思つか~あんなの所詮は疑似マンコだよ。

しおりにぎりぎりに締め付けられる快感一度体験したらオナホールにな
んか戻れなくなつちゃうんだから」

26

「ふふ、おじさんのおちんちんばっさわ、

27

調子出でたじゃんおじさん～

「そんなおじさんには」うちの穴も見学せんわよつかな～

「ねじさんに背中向けて～～かがんで～～ほじお尻の穴」

30

「あはは、来たあああじゃないでしょおじさん、田舎走ってるや～」「締まつたり開いたり呼吸してるみたいでしょ」

「ほりお尻もちもち、マシユマロみたいに乗らかいんだ」

31

「またおじさんの方に体を向けて……しおりおつぱい大きいや～」

「しおりねまだヒッチな事に疎いの、だからおじさん教えて～～

32

3番囁き 「妊娠するとおつぱいからルクが田舎者にならひてほんとや～おじさん」

33

「しおりおつぱいからルク早く出るよ！」なりたいな～～、ふふ

34

ふ」

35

「それでね妊娠するにはヒッチな事をしないといけない」とママから
聴いた事あるんだけど～ヒッチな事つてな～～おじさん

「おじさんとしおりでもできる事なんだってね、

しおり興味津々なんだけど知るのはまだ早いわよつてママに言われ

ちやつたの」

「妊娠～」おつぱいしたいよね～おじさん、

40

おじさんもしおりがおっぱいからミルク出すと「見たいでしょ？」

ふふふふふ

41 2番 「あれれ～おじさんおちんぽシロシロもくつてる～、

しおり何か股間に刺激を与えるような事言つたかな～あはは

42 「臭い匂いにだけ興味ある人かと思つたけどちゃんと正常な感覚持つて
るんだおっぱいに反応するなんて」

43 「それともあれかな、

体中汗かいてるしおりの全裸の姿に興奮してるのかな？」

44 「ふふ、別に特定の場所だから臭い匂いするんじゃないよ。

45 「ほら抱き付いて」あん、裸のしおりに」「

45

「本当に匂いフニチを手玉に取る女の子つていうのははず」匂いが体から
出ているの、それを身を持って体験させてあげるよ」

46 「ん？自分から来れない？緊張して、

じゅうしおりから裸のおじさんに抱き付いてあげる」

47 1番

「これでビ～～おだ、むわわわ～～！」

48

「ふふふ、女の子に抱き付かれて気持ち？

しかも自分よりずっと年下の女の子に。

おっぱいがむにゅつて当たつておちんぽ[反り返つてるよ]

49

「にひひ～じやあもうちょっと密着しておっぱい押し当つてあげよ～と、

むぎゅむぎゅ

「ほれほれ乳首攻撃～～～、あはは、
しおり乳首立つてる事ばれちゃつた～恥ずかしい～～～。」

「しおりの唇見て何？キスしたいの？しおりと！
いじょチュー～～～してあげる」

「ま～おじいさんチューしてあげる、

お口ん～～～って前に出して、ん～～～って！」

「うん、いいよ、しおりの口見て、ん～～～♡」

「ふふ、たこみたいな口されるとチューしたくなっちゃうでしょ、
ほら見て、ん～～～、ん～～～、ん～～～ん♡」

「んふふ、はあはあす～～～い、

しおりのたこみたいに伸ばしたチュー顔見たら吸い付きたくなっちゃう
よね♡」

「いいよ、ま～、チューしてあげる、
ん～～～、ん～～～、ん～～～～～～♡」

「ふふ、焦らさないで～」

「ふふ、ん～～～ってたこみたいに前に出したしおりのお口と
今すぐにチューしたいんだ、可愛い♡」

「ん～～～、ん～～～、ん～～～～～～♡」

「ふふ、メロメロになつてるね、可愛い♡」

6
1

「じゃあ本氣チューいくよ、んうう、チュー、チュー、んつ、ふふ、
んうううう、チュー、んちゅうう、チュー、チュー、
んふ、はいおううわり」

62

「しおりのチューー気持ちよかつた？」

6
4

「あはは、超気持ちよかつたか、

6
5

「うん、しおりおじさんの事だ~い好きだからエキエキして顔赤くなつちやつたよ。きやつ、今でも恥ずかしいよ本気チュー」

ふふ抱き付いてたらしおり暑くなつて苦で渋いつはいかいちやつた

「はあはあしてなつゝ。しおりの体の匂いだ、

「お尻の穴キュンキュンさせてあげる、魔法の息をお耳にかけてあげるだけ」

7
1

「息吹きかけ）ふ～～～は～～～」

7
2

「くすく おじさんアヘアヘしてると 腹もかくかくじでますよ」「しおりのおまんこに固いの当たつてると、素股プレイ、にひひ」

74

「今ならすぐ出せんでしょ。しおりの裸と密着してる今なら」

75 「ほら出・し・て、出・し・て、マジ精子しおりに見・せ・て、見・せ・て、
ふふ……出せー」

76 「こやんー・やんー」

77 「やへだもうす」おれおじかへへへへ、おまんこの感触でこつもの倍
出したなー」

78 「ね～おじか～……」

79 「本物はも素股でデラッピコンじやなくおまんこに精液注ぎたかったん
でしょ。」

80 1番 「ほ～ょくでしゃめたのチュー～てあげる、チュー～～、えへへ
ふふふふふ。

81 「ね～とー～ふふ、足腰不安定になつてるね、でもまだやる事いっぱい
あるんだよ」

82 「べゅ～～～、おじかこの舌を使ひしおの体舐めるの、
上半身から下半身の順で舐めていくよ」

83 8番 「ほら腋舐めて…………おじかこの好きなよひに舐めてこ～よ、
れろれろ～～～って」

84 「…れろれろ、れろれろ、あはは、おじかん変態だ～～～んふふ」

85 「トロ～ン～てした顔しおりに見せてー」

86 「…わ～～～トロケきてるよ、おじさん腋好きなんだね～」

87 「女の子に腋見せられたらすぐマジちゃんぽんこ～シコせせるんでしょ。」

えへやだへへ

88 「ほりおちんぽじめへる、とにかくオナニーするよねへ。」
89 「おじさんせー田に何回股間さすつてるの~。」
90 「えつー10回以上で精液は3回は出すの~。」
91 「あはは、そんな事真面目に答えるなよ、あはははは」
92 「じやあこれからは20回ね、しおりから命令へ」

93 7番囁き 「ふふ、僕は毎日オナニー20回します、ほり囁く。」
94 「ふふふ、なんではあはあしてるので、
おちんぽくちゅくちゅ鳴らすなよ。」
95 「めんなさことかいらないから、うん、
謝つたりするんじゃなく言葉だよ言葉」

96 「やつからもつとマゾっぽい事宣言したいのか、
マゾ豚君にはこれが気持ちいいかな?」
97 「僕はしおり様のマゾ奴隸です、しおり様の許可なしに絶対精液出し
ません、ほり言へ」

98 「ふふふ、年下の女子におちんぽ管理されてる、おじさん恥ずか
しいへへあはははは」
99 「(息拭きかけ) ふへへへへふふふ、よくできました」

100 「おっぱいだよおっぱい、おじさんのだへへい好きなぱいぱい」
101 「乳首、舌先でちろちろ舐めて」ひん……

「舌で円を描くように右回り、左回りと舐めてちゅうつておっぱいに吸い

付
い
て

卷之三

「おつぱいは格別に美味ちいでちゅね〜〜」

「んふふ、おじさん吸い方きもいんだよ、たくさう、あはは。」

「…………ひやうー…………おへそくすぐったい」

「おじさん女の子のおへそ舐めたの初めてでしょ？」

「おのれのヘッドなふ」ハ、事は日常茶飯事だから、と云ふれば、主人

まつたぐしようがなー、ペツトだなー、ふふー

よし次……おじさんのだるい好きなふくふくおまんこ

卷之三

「ハリサは、お、マコロのサトシがさういふらうに續く付にられやう。」

「うん、いいよ舐めて！ ていうか……」「……」

116 7番囁き 「舐めろ、ふふふ」

117 8番 「うわ～おじさん興奮するのがよくわかるよ～～、おじさんの息
がまんにかかるもん」「

118 「美味し？……はいだつて～～～、
おじさんしおりのまんこペロペロ舐めまくり、
うう～くすぐったくて気持ちい～～～」

119 「ペロペロ、ペロペロペロ、おしつこの匂いするかも、
あはは、でもおじさんならそんなの気にしないもんね、ね～おじさん」「

120 「わ～では次行つてみよ～～～ほら臭い足～～～」

121 「あはは、むしゃぶりつくな～足にはやつぱ、
おじさんのだら～い好きな汗だくの足だもん」

122 「しおりが舐めるの終わりつていままで一生舐めそつだよね、
それ程好きでしょ？」

123 「女の子の足現実に舐めたいって思つてたんでしょ、
願い叶つて良かつたじゃんおじさん」

124 「臭い～しおりの足、

125 「うわ～～～い足の裏は美味しいですか～～～あはははは！
「うわ～～～、親指から小指まで指の間にまで舌入れてくるよ～、
おじさんくんた～～い、ふふふ」

126 「ほら酸っぱ～～い親指もつと舐めな～～むしゃぶりつかな～～ふふ、
むしゃぶりついて変態顔しおりに見せな～～～」

127 「ふふ、は～～～い、よくできたね～よしよし～～～あはは」

128 「よ～し変態おじさん、次にいくよ～～～えへへ」

129 「えつ、他に舐めると」ない?」

130 「ふふ、もつ～おじさんたら冗談きついな～～、

しおりの可愛さにみとれてるから肝心なポイントを見逃すんだよ」

131 「そうです、脳裏につびひつて閃いたその穴です、

しおりのお尻の穴を忘れて貰つては困るなあ～～」

132 「ん? できないの?」

133 「しおりのペットなら忠誠心を見せて欲しいな、おじさんマジなんだよ」

「きつい事命令されればされる程燃えるのが豚さんでしょ、

マジ豚さん、おじさんの事だよ」

134 「いいんですかって何? いいに決まってるじゃん、

おじさんはしおりにとつて特別な人なんだから、

ドMのおじさん、早く舐めてよ」

135 「ほ～～～ら、ぐに～～、あはは、

しおりのアナル早くおじさんに舐めて欲しいみたいだよ、

ひくひくしちゃってるもん」

136 「ほら舐・め・て ♡」

137 「んふふふふ、は～～～い、やつとか～～、

随分迷つてたね、

汚いとこつて思つてたみたいだけどしおりの穴は綺麗だよ」

「べろ～～～つてお尻の穴の奥まで舌入れてみ、

138

すつ”い美味しい事に気付くから、前に進もう諸君」

「あはは、なんだよ、おちんぽめっちゃ勃起してんじやん、おじさんほんと素直じゃないんだから」

140 「ひやんー……気持ちいい、おじさんもつと奥へへへ奥がいいの……」
141 「はうううううしおりお尻の穴舐められて愛液出しちゃったよ……、感じちやうよ……」

142 「おじさん、しおりの穴もつと舐めて、舐めて感じさせで」

143 「……はあ、はあ、しおり感じると愛液垂らしちゃうHツチな女の子なの、おじさん」「ねんね、しおりエツチで」

144 「はつーーー」「へへへへ、この癖に調子に乗らないの、

145 「これじやあおじさんがしおりの「主人様みたいじゃん」

「立場逆転しちゃだううめ、あくまでもしおりが主人なんだからね」

146 2番 「はいはーい、舐めるのおあずけ、

147 「ちょっと休憩に入らせて貰うねしおり」

「あはは、おじさんなんか勘違いしてない?」

「しおりが休憩している間洗濯するんだよ

「のしおりのおしふ」「パンツ」

148 「口の中によく歯んで洗濯するんだよ、

洗濯してゐる途中でドピュ~ってしゃやつていいよ」

「女の子のおしゃ」だ~う~い好きなおじさん」「褒美なんだよ、
しおり優しいでしょ~?えへへ」

「せ~、お口あ~け~て~♡」

「…あはは、おしゃ~パンツお口で洗濯しなきやうけないといつていうの
にがばつと口開けてほんと口コロコロんだな~」

「ほい、ぱいりと」

10番 「あつそれと洗濯時間だけどおしゃ~ドピュ~って2回射精する
まで洗濯して」

154 「射精する気がなくてもしおりのおしゃ~の匂いで勝手にお漏らし
しちやうんじやないかな、おじやくロコロんだし」

155 「やれじや洗濯機さん稼動して~あはは、あはははは

